

授業科目名	特修Ⅱ（保育音楽演習）	担当教員名	河野 佑美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	選択 / 2単位（60時間）	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 通年（1-4期） / 年間開講数 1講座	特記事項	
授業の概要及び全体目標	幼児の音楽活動より器楽合奏、リトミックを主に取り上げ、子どもの音楽的な能力、身体表現能力、協調性の育成について多方面から研究する。		
到達目標	<p>(1)幼児の音楽表現に必要な楽器を通じた遊びとリトミックの内容と指導法の習得、幼児の年齢や音楽的発達を十分考慮した楽器遊びの指導方法、演奏技術、伴奏技術を習得する。</p> <p>①楽器の正しい奏法、指導法を理解する</p> <p>②リトミックの概念や必要な基礎リズムを理解する</p> <p>③様々な活動における伴奏方法を理解、習得する</p> <p>(2)幼稚園で行えるカリキュラムを作成できる力を養い、実践しながら指導方法、構成力、自らの技術の向上を目指す。</p> <p>①自ら実践的なカリキュラムを作成できる力を養う。</p> <p>②様々な発表や模擬保育を通して、保育士としての指導技術を養い、自らの音楽的表現力を豊かにするだけでなく、他者と協力することで得られる喜びや達成感を味わい、自己の資質や能力を向上させる</p>		
テキスト	使用しない（プリント配付）		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）		
成績評価の方法	受講意欲・態度10%、レポートの提出30%、実技60%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業で指示する。事後学習については毎回コメントシートを提出。 オフィスアワー：授業終了後、質問事項を質問シートに記載し、学務室経由で提出してください。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	合奏① 楽器の正しい奏法を知る / 模擬保育① グループ発表課題 「山の音楽家」を例に幼児に正しい奏法を身に付ける模擬保育において 楽器の選択、オノマトペを考える / リズム演習①小太鼓練習曲1番	(1)-①,(2)-①	
第2回	合奏② 3歳児用合奏曲 パート練習 / 模擬保育② グループ発表課題 使用する楽器の分かり易い説明の作成 / リズム演習②小太鼓練習曲1番 テンポアップ	(1)-①,(2)-①	
第3回	合奏③ 3歳児用合奏曲 仕上げ【ICT機器の活用】 / 模擬保育③ グループ発表課題 使用する楽器の視覚教材の作成 / リズム演習③小太鼓練習曲2番	(1)-①,(2)-②	
第4回	合奏④ 行進曲 パート分け、構成の把握 / 模擬保育④ グループ発表課題 立ち位置、流れの確認 / リズム演習④小太鼓練習曲2番 テンポアップ	(1)-①	
第5回	合奏⑤ 行進曲 パート練習 / 模擬保育⑤ グループ発表課題 発表	(1)-①,(2)-②	
第6回	合奏⑥ 行進曲 テンポアップの練習方法を知る / リズム演習⑤小太鼓練習曲3番 / 指揮法① 拍子別指揮法	(1)-①	
第7回	合奏⑦ 行進曲 仕上げと振り返り【ICT機器の活用】 / リズム演習⑥小太鼓練習曲3番 テンポアップ / 指揮法② 課題曲の練習 強弱の理解	(2)-②	
第8回	合奏⑧ 行事で使える合奏曲 パート練習 / リズム演習⑦小太鼓練習曲 理解度・到達度チェック / 指揮法③ 課題曲の練習 復習		
第9回	合奏⑨ 行事で使える合奏曲 全体のバランスを整える / 指揮法④ 課題曲の練習 暗譜		
第10回	合奏⑩ 行事で使える合奏曲 仕上げと振り返り【ICT機器の活用】 / 指揮法⑤ 課題曲の理解度・到達度チェック	(2)-②	
第11回	合奏編曲① 発表会のテーマを考え、編成、選曲を行う / コード伴奏演習① 基本的な調とコードネームの確認	(1)-③	
第12回	合奏編曲② グループ毎に構成を考えて編曲する / コード伴奏② 調の選択、動きに合わせた伴奏方法	(1)-③	
第13回	合奏編曲③ グループ毎に全体のバランスを整える / コード伴奏③ 動きに合わせた伴奏方法の復習	(1)-③	
第14回	合奏編曲④ グループ毎に録音し再調整する、記譜を完成させる / コード伴奏④ 動きに合わせた伴奏に適切な声掛けを探る	(1)-③	
第15回	合奏編曲⑤ 発表会と振り返り / コード伴奏⑤ 到達度・理解度チェック / 前期の総括	(2)-②	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第16回	リズムの基本① 定義、基礎リズムとステップ、基本の動きを知る / リズムの伴奏実践① 設定毎の伴奏方法について。基礎リズムを中心に	(1)-②,(2)-①
第17回	リズムの基本② 強弱変化・速度変化・高低変化の3種類の即時反応活動を学ぶ / リズムの伴奏実践② 効果的な合図音や声掛けについて考える	(1)-②,(2)-①
第18回	リズムの基本③ ボールやスカーフを用いたリズム活動を学ぶ 3拍子や6/8拍子を中心にフレーズを意識した動きについて考える / リズム伴奏実践③ 3拍子や6 / 8拍子の伴奏を習得する	(1)-②,(2)-①
第19回	リズムの基本④ 「動物・天気・風船・舞踏会」を題材として、考えられるリズム活動を学ぶ / リズムの伴奏実践④ 誰が・どのように・どのような状況かを判断し、適切な音楽と声掛けを学ぶ	(1)-②,(2)-①
第20回	理解度・到達度チェック / リズムの活用① 保育で使えるリズムとして、想定される様々な場面に合う活動を作成する	(2)-①,(2)-②
第21回	リズムの活用② 楽しめるアレンジの追加、伴奏を工夫し活動を整える	(1)-②,(2)-①
第22回	リズムの活用③ グループ内の発表練習を行い、改善点を話し合う ④ 改善点を直し最終調整を行う	(2)-②
第23回	リズムの活用⑤ 全体の発表と振り返り	(2)-②
第24回	リズムのカリキュラム作成と演奏工夫① 幼児になじみのある題材で構成を考える。必要な動きを考える。	(2)-①
第25回	リズムのカリキュラム作成と演奏工夫② 動きに合わせた基本となる伴奏を作成する。効果的な合図音、補助や声掛けを学ぶ。	(1)-②,(1)-③,(2)-①
第26回	リズムのカリキュラム作成と演奏工夫③ 全体の流れを把握し、作成した伴奏を整える	(1)-②,(1)-③,(2)-①
第27回	リズムのカリキュラム作成と演奏工夫④ 作成したカリキュラムで模擬実践を行う ⑤ 意見交換を行い、それを踏まえて修正する	(2)-②
第28回	リズム視聴覚教材の作成と利用の工夫① 作成したカリキュラムを視聴覚教材用にアレンジする ② 構成と伴奏演奏を深める ③ デモンストレーションを行う【ICT機器の活用】	(1)-③
第29回	リズム視聴覚教材の作成と利用の工夫④ 撮影する ⑤ 視聴して改善点について話し合う ⑥ 修正したカリキュラムで再度撮影する【ICT機器の活用】	(1)-②,(2)-②
第30回	リズム視聴覚教材の作成と利用の工夫⑦ 振り返り（園で実際に使用したときの様子から）【ICT機器の活用】 総括	(2)-③